

事 務 連 絡

平成 31 年 2 月 18 日

各 都 道 府 県 教 育 委 員 会 総 務 担 当 課  
各 指 定 都 市 教 育 委 員 会 総 務 担 当 課  
各都道府県教育委員会専修学校各種学校主管課 御中  
厚 生 労 働 省 医 政 局 医 療 経 営 支 援 課  
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課

文部科学省大臣官房政策課情報システム企画室

改元に伴う情報システム改修等への対応について（依頼）

日頃から文部科学省の施策等にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

天皇の退位等に関する皇室典範特例法（平成 29 年法律第 63 号）に基づく皇位の継承に伴い、2019 年 5 月 1 日に改元が行われることとされており、新元号については、国民生活への影響を最小限に抑える観点から、改元に先立ち、4 月 1 日に公表される予定です。

については、貴組織及び所管の各学校において、改元に伴う情報システム改修等への対応が必要な場合には万全を期していただくとともに、各都道府県教育委員会におかれては、域内の市町村教育委員会に対して本内容を周知していただくようお願いいたします。

なお、ご検討の一助として、改元に伴う情報システム改修等への対応例を送付させていただきます。

※ 当省他部局の他、他府省から同様の案内が送付される可能性があります、「国民生活への影響を最小限に抑える」趣旨の下、政府を挙げて取り組んでいるもののため、重複しての送付があった場合には何卒ご容赦ください。

【本件問合せ先】

文部科学省大臣官房政策課  
情報システム企画室

TEL:03-5253-4111 (内 2247)

## ＜参考：改元に伴う情報システム改修等への対応例＞

### 1. 情報システム改修に向けて想定される段取り・工程

#### (1) 新元号公表前に行う作業

- ① 和暦の使用状況の調査とシステム改修計画の策定
- ② 他のシステムとの連携における連携先の対応方針の確認
- ③ プログラムの修正と動作テスト
- ④ 修正したプログラムの適用などのリリース作業のリハーサル

#### (2) 新元号公表後に行う作業

- ① 新元号の適用（仮元号から新元号に置き換える作業のみならず、OS 等のアップデート含む）
- ② 印字や表示を含め、処理が適正に行われているかどうかのテスト
- ③ 他システムとの連携のテスト（動作確認、エラー修正、再確認等）

### 2. 改元対応において留意すべき事項

#### (1) 自組織内のシステムについて

（特に複数のベンダーに対応を依頼する場合、）自組織内の システム間連携における新元号での連携のルールや改修の必要箇所を把握・確認した上で、テスト計画を立案できているか。

#### (2) 自組織外のシステムとの連携について

- ① システム連携先の対応方針について確認し、和暦の使用箇所、改修の必要箇所を把握できているか。
- ② 自組織外のシステムとの連携におけるテスト計画を立案できているか。

### 3. システム改修における対応例

- (1) 和暦を使用しているシステムの依存関係を把握し、相互運用を損なわない更新手順の策定
- (2) データを和暦表示で保有している場合の改元以降の新元号表記への変換
- (3) 書面やシステムの画面上に元号を印字・表示している場合、印字・表示内容の変更

- (4) 西暦と和暦との変換処理を行っている場合、変換プログラムの修正又は変換テーブルへの登録

※ なお、新元号の公表から改元までの間に、全ての作業を完了することができない場合は、顧客との接点となる箇所など、優先順位を付けた対応が必要になるとともに、旧元号と新元号が併存する場合の運用について十分に検討する必要がある。

(以上)